



2014年3月期 決算説明会

シスメックス株式会社

代表取締役会長兼社長 家次 恒

2014年5月9日



本日の内容

Chapter 1 2014年3月期 決算総括

Chapter 2 2015年3月期 業績予想

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。



Chapter 1

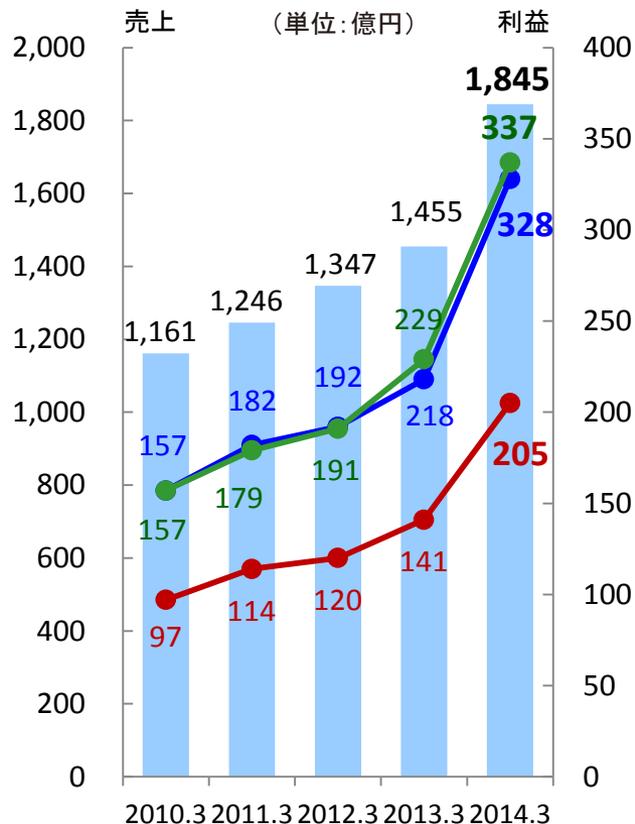
2014年3月期 決算総括

決算総括

売上高: 14期連続増収、営業利益: 13期連続増益
 — 売上高、全ての利益において過去最高を達成 —



(単位: 億円)



売上高 (青い棒) 営業利益 (緑い線)
 経常利益 (緑い線) 当期利益 (赤い線)

	2014年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	1,845.3	100%	1,455.7	100%	126.8%
売上原価	688.1	37.3%	565.8	38.9%	121.6%
販売費及び一般管理費	828.5	44.9%	671.9	46.2%	123.3%
営業利益	328.7	17.8%	218.0	15.0%	150.8%
経常利益	337.8	18.3%	229.7	15.8%	147.0%
当期純利益	205.7	11.1%	141.6	9.7%	145.2%

- 売上高: 円安の影響もあり海外を中心に二桁増収
- 営業利益: 増収効果、原価率の改善により増益
※Partec・Inosticsの影響を除いた場合、対前年同期比126.2%増収、151.7%増益
- 営業外損益: 為替差益 4.1億円 (前年同期 為替差益 8.1億円)

➤ 為替の影響 売上 + 249.9億円 営業利益 + 98.3億円

※前年同期為替レート適用の場合: 売上高 109.6%、営業利益 105.6%

- 設備投資 133.6億円 減価償却費 99.6億円 研究開発費 132.6億円

	14.3期	前年同期
1USD	100.2円	83.1円
1EUR	134.4円	107.2円

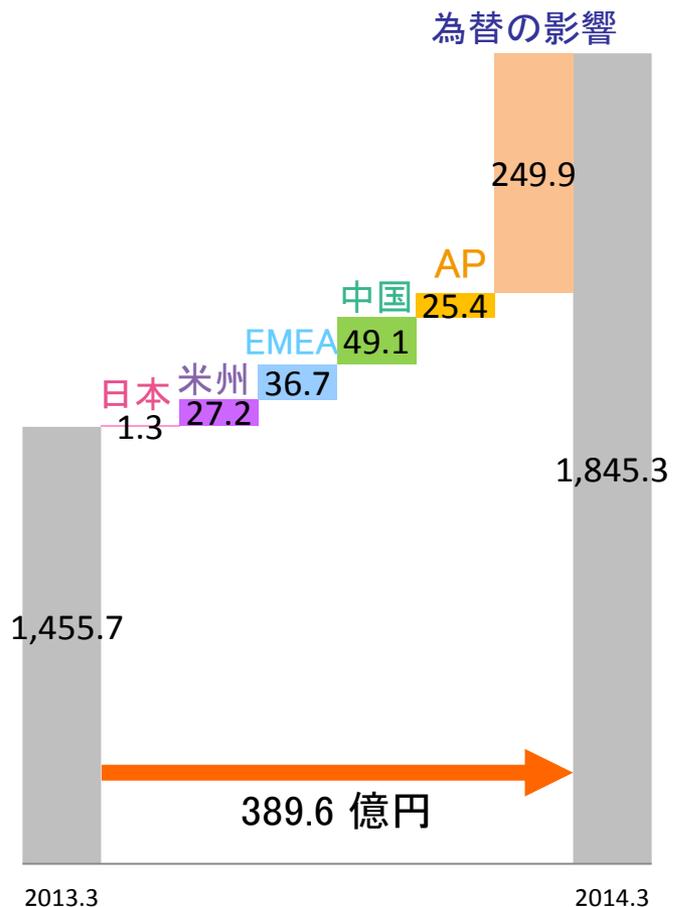
売上高・営業利益の増減要因



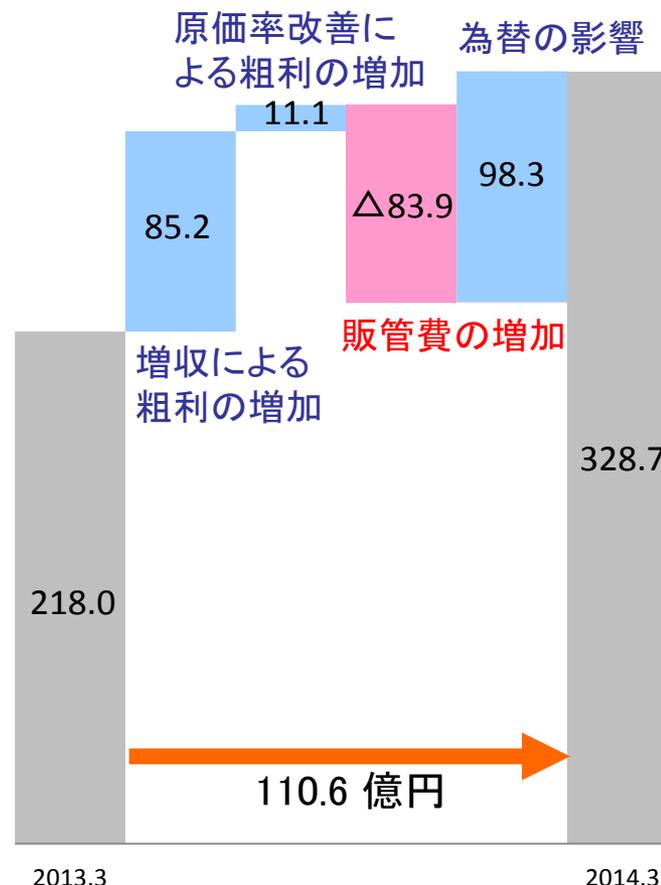
(単位: 億円)

売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



営業利益

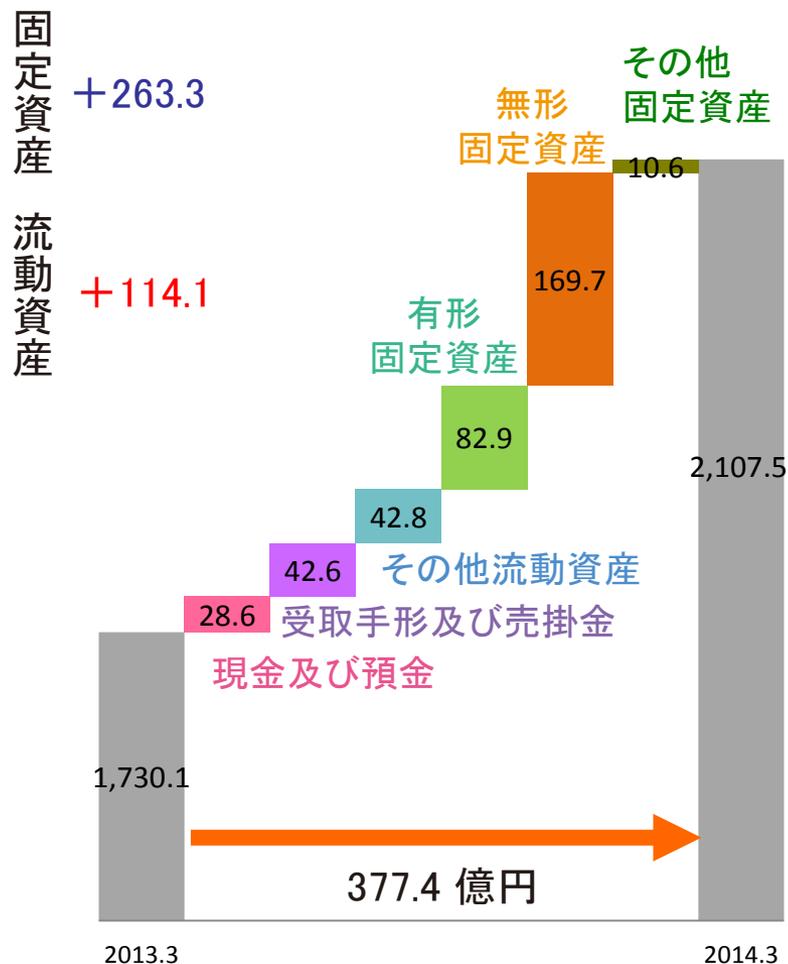


貸借対照表の増減要因

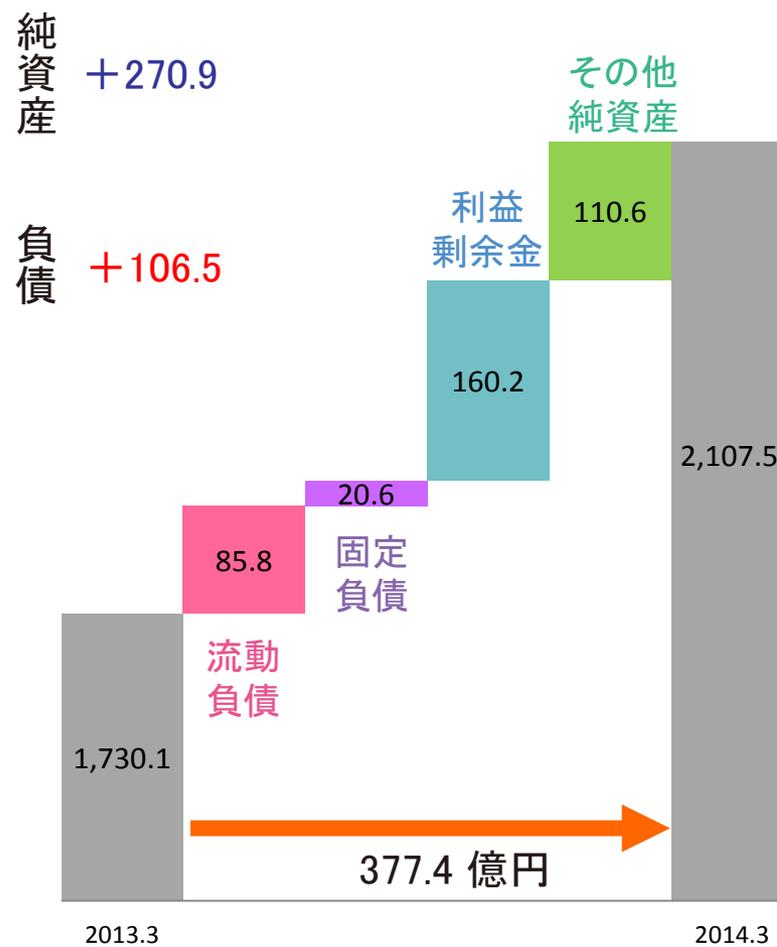


(単位: 億円)

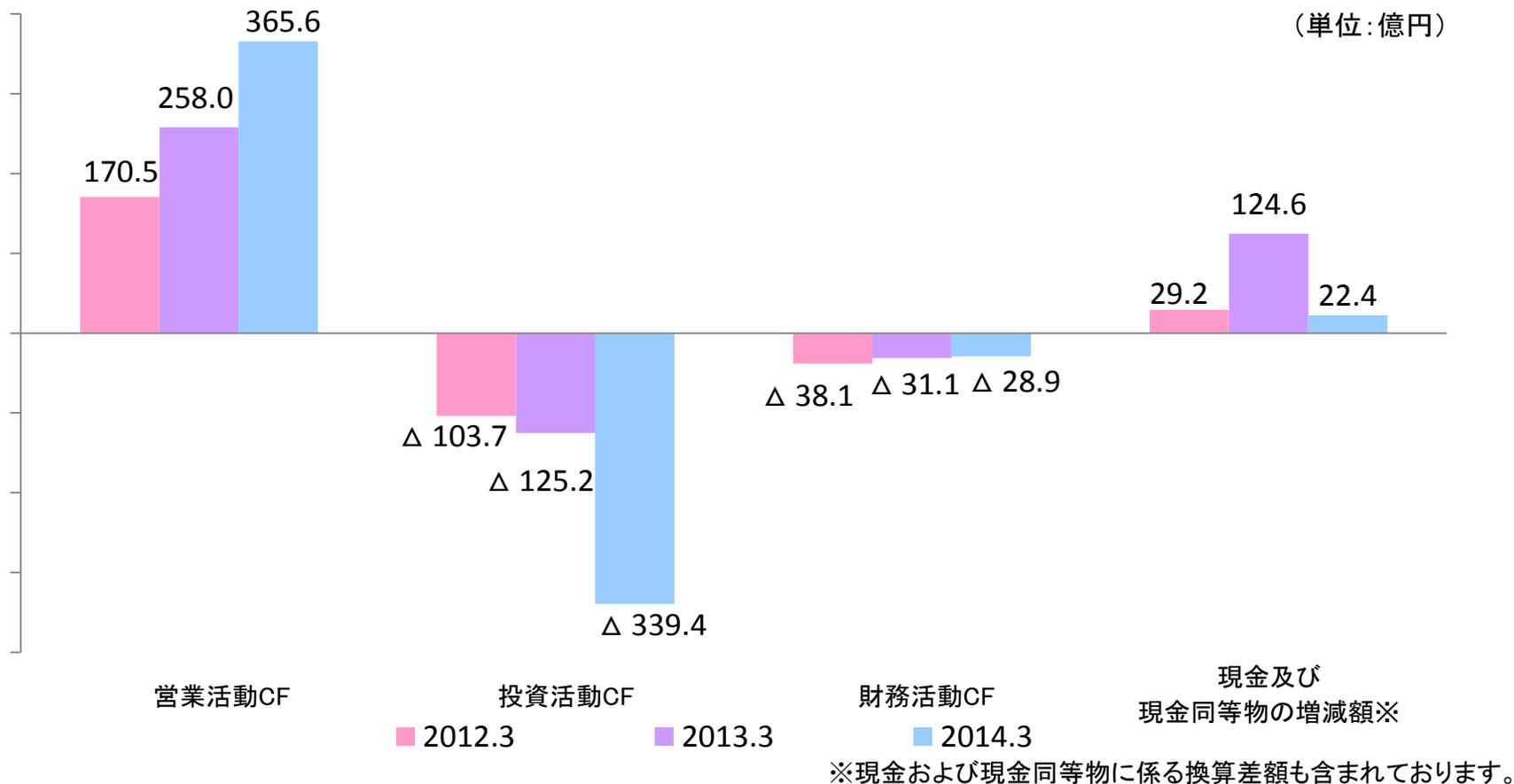
資産の部



負債・純資産の部



キャッシュフローの推移



● 生産機能の拡張およびM&Aによる子会社株式取得により投資活動CFが増加

M&A・アライアンス

- Partec・Inostics 株式を取得し子会社化
- 国立がん研究センターとがんの診断薬開発に向けた連携契約を締結
- 医療用ロボット開発に向け、シスメックスと川崎重工業がマーケティング会社を共同設立
- Sysmex InosticsがBayer HealthCareとがんコンパニオン診断薬の共同開発契約を締結
- ミリポア社と臨床研究、共同開発およびライセンス契約を締結

拠点整備

- 韓国代理店を子会社化し、販売・サービス活動を強化
- トルコに現地法人を設立し、直接販売・サービスをスタート
- 機器生産工場の新工場設立に着手 2014年6月本格稼働予定(兵庫県加古川市)
- シンガポールおよびドイツの試薬生産工場拡張に着手
- 中南米での販売・サービス体制強化を発表



製品・技術

- 糖鎖マーカーを用いた肝線維化の進行度を測定する検査試薬「HISCL[®] M2BPGi試薬」を発売(研究用)
- アトピー性皮膚炎の検査試薬「HISCL[®] TARC試薬」を発売
- OSNA[®]法による大腸がん、胃がんのリンパ節転移迅速検査が保険適用
- 無侵襲でヘモグロビン推定値を測定する新製品「ASTRIM FIT」を発売



健康モニタリング装置
ASTRIM FIT

その他

- XN-2000とXN用診断薬が“German Design Award”(ドイツデザイン賞)を受賞
- 校正機関と外部精度管理に対する国際規格ISO/IEC 17025、ISO/IEC 17043の認定を取得



所在地別売上高

- 所在地別売上高
(外部売上)

(単位: 億円)

		2014年3月期		前年同期		前年同期比	
			構成比		構成比	(円)	(現地通貨)
売上高		1,845.3	100%	1,455.7	100%	126.8%	-
所在地別	米州※1	385.9	20.9%	297.0	20.4%	129.9%	107.7%
	EMEA	531.9	28.8%	394.3	27.1%	134.9%	107.6%
	中国	362.5	19.7%	244.2	16.8%	148.4%	120.0%
	AP	147.3	8.0%	90.4	6.2%	162.9%	-
	日本※2	417.5	22.6%	429.7	29.5%	97.2%	-

※1 医療機器物品税を2Qまでは売上から控除したが、3Qにて9ヵ月分を売上原価として処理。
前年同期は売上高から0.9億円を控除。

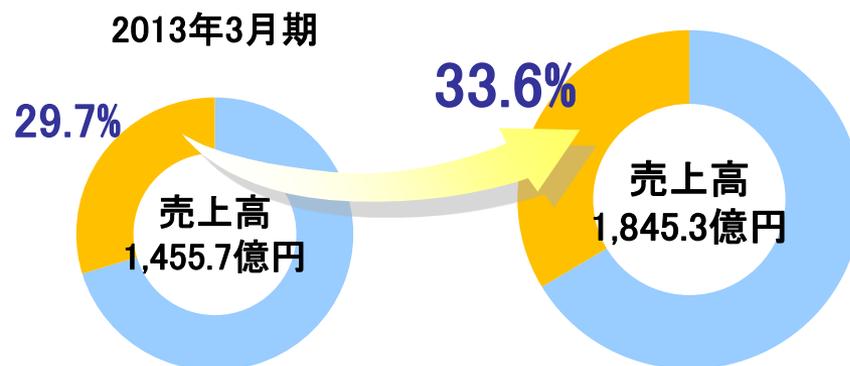
※2 IDEXX社等含む外部売上。前期には韓国向け売上を含む。

- 為替レート

	2014年3月期	前年同期
1USD	100.2円	83.1円
1EUR	134.4円	107.2円
1CNY	16.3円	13.2円

- 新興国の売上高比率

2014年3月期



事業別売上高

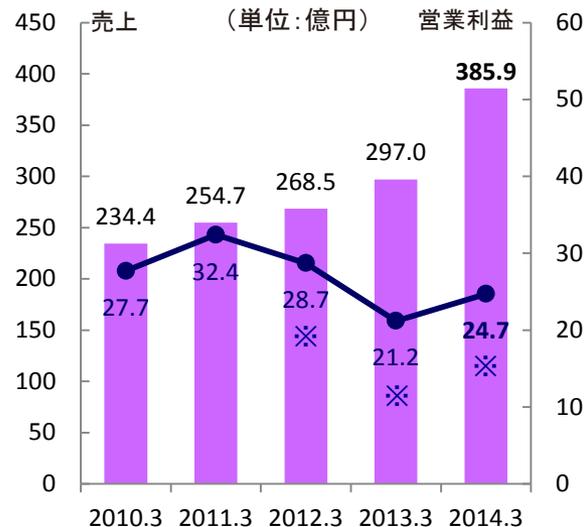


(単位:億円)	2014年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
ヘマトロジー	1,195.9	64.8%	938.3	64.5%	127.5%
尿	144.8	7.9%	109.3	7.5%	132.5%
その他 ^{※1}	44.3	2.4%	38.0	2.6%	116.4%
HU-BU	1,385.1	75.1%	1,085.7	74.6%	127.6%
免疫	21.1	1.1%	20.7	1.4%	102.1%
生化学	37.0	2.0%	30.8	2.1%	120.2%
凝固	278.9	15.1%	212.1	14.6%	131.5%
ICH-BU	337.2	18.3%	263.6	18.1%	127.9%
その他IVD ^{※2}	76.4	4.1%	70.0	4.8%	109.2%
IVD 計	1,798.8	97.5%	1,419.4	97.5%	126.7%
LS-BU	17.2	0.9%	10.6	0.7%	162.8%
その他	29.2	1.6%	25.6	1.8%	113.8%
売上高 計	1,845.3	100.0%	1,455.7	100.0%	126.8%

※1 Laboratory Information System (検査情報システム)等

※2 仕入れ商品等

米州における取り組み(所在地別)



■ 売上高 ● 営業利益

※グループ間取引価格の見直しの影響

Copyright by Sysmex Corporation

(単位: 億円)

	2014年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	385.9	297.0	129.9%
営業利益※	24.7	21.2	116.4%

- 米国の医療制度改革の本格施行により、市場にも回復の兆しが見られ、機器・試薬売上の伸長および円安により増収

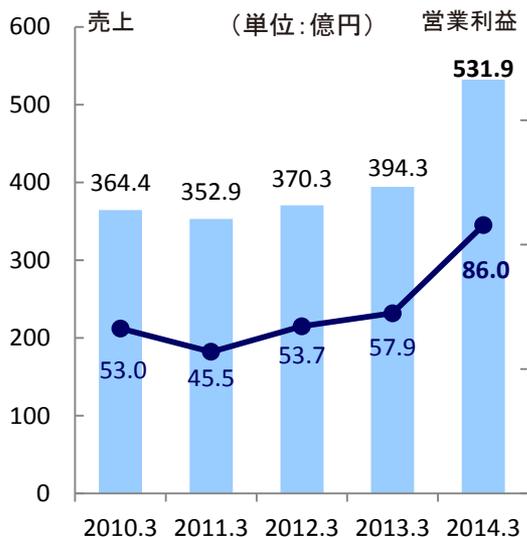
- 増収効果が医療機器物品税の影響、販管費の増加およびグループ間取引価格の見直しの影響を補い増益

・医療機器物品税を2Qまでは売上から控除したが、3Qにて9ヵ月分を売上原価として処理。前年同期は売上高から0.9億円を控除。(利益への影響なし)

■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 107.7%、営業利益 96.5%※

- 米国 : 医療制度改革の本格施行により、市場にも回復の兆しが見られ、機器・試薬およびサービスの売上が伸長し増収
- カナダ : 医療費予算削減に伴う案件の減少や遅延が継続し減収
- 中南米 : チリやコスタリカ等の販売拡大により増収

EMEA※における取り組み(所在地別)



※欧州、中東、アフリカ地域

(単位: 億円)

	2014年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	531.9	394.3	134.9%
営業利益	86.0	57.9	148.4%

- 主要5カ国全てに加え、販売網を拡充したロシア等での伸長および円安により増収
- 増収と原価率の改善が、ビジネス拡大による販管費の増加を補い大幅増益

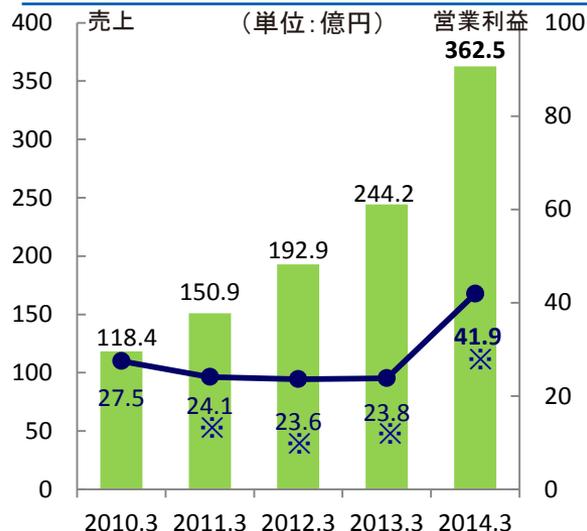


■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 107.6%、営業利益 118.3%

- 主要5カ国: ヘマトロジーを中心に各国で増収
 - ドイツ : ヘマトロジー試薬を中心に増収
 - フランス : 検査室の統廃合によるシステム製品の需要が拡大し、XN販売が好調に推移
 - スペイン : 入札案件獲得等により増収
- その他欧州 : XN販売が好調なスイス、オランダを中心に増収
- 東欧・ロシア : ロシアでの販売網拡充等が奏功し増収
- 中東・アフリカ : XN販売が好調なクウェートを中心に増収

売上高 営業利益

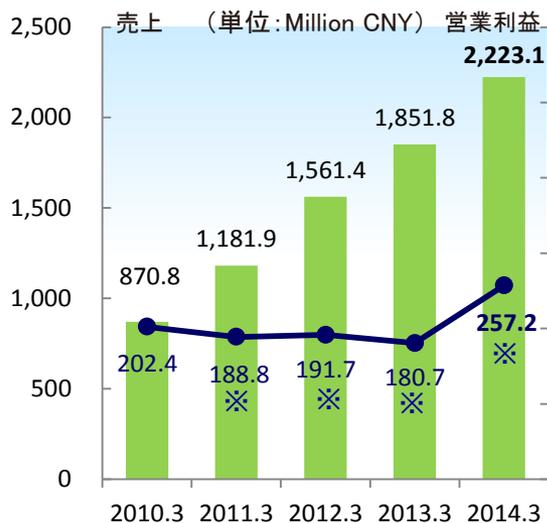
中国における取り組み(所在地別)



(単位: 億円)

	2014年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	362.5	244.2	148.4%
営業利益*	41.9	23.8	176.0%

- 市場での販売停滞による影響が一部あるも、ヘマトロジー・凝固分野の試薬を中心とした売上の伸長および円安により増収



- 増収効果がグループ間取引価格見直しの影響および販管費の増加を補い大幅増益

■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 120.0%、営業利益 142.3%*

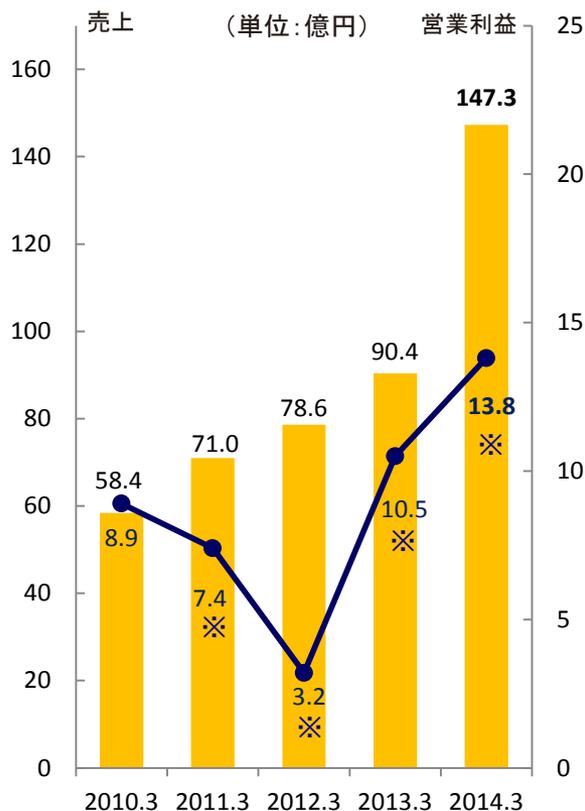
- ヘマトロジー分野 : 機器販売が伸び悩むも、試薬売上が堅調に伸長し増収
- 凝固分野 : CS-5100の販売好調が奏功し、機器・試薬ともに伸長し増収
- 尿分野 : 試薬売上が伸長し増収

■ 売上高 ● 営業利益
 ※グループ間取引価格の見直しの影響
 Copyright by Sysmex Corporation

APにおける取り組み(所在地別)



(単位: 億円)



※グループ間取引価格の見直しの影響

	2014年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	147.3 ^(注)	90.4	162.9%
営業利益 [※]	13.8	10.5	131.3%

- 韓国、タイの直販化に加え、インドネシア、マレーシア、オーストラリアでの売上が好調に推移し、大幅増収

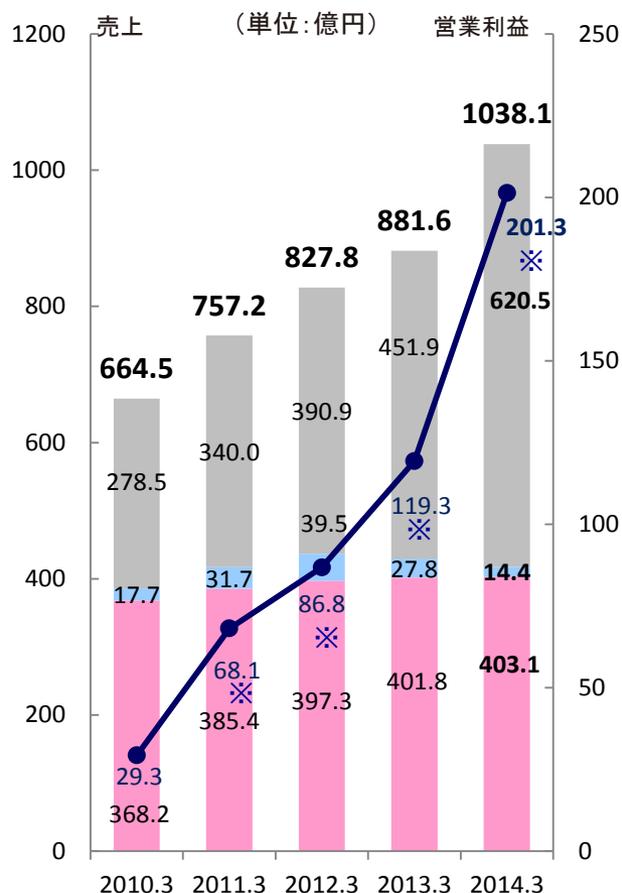
- 増収効果と原価率の改善が、グループ間取引価格見直しの影響および販管費の増加を補い大幅増益

- 東南アジア : インドネシアやマレーシアで伸長し増収
- 南アジア : 4Qでのインド向け売上の回復もあり増収
- オセアニア : 検査センターへの凝固、XN販売により増収
- 韓国・台湾 : 韓国の直販化により大幅増収

- ・ 韓国の影響を除いた場合、対前年同期比 126.0%の増収

(注) 韓国代理店の子会社化に伴い、韓国は2014年3月期1Qより日本所在地からAP所在地へ変更

日本における取り組み(所在地別)



■ 内部売上高: 関係会社への輸出等
 ■ 外部売上高: IDEXX社等
 ■ 外部売上高: 日本
 ● 営業利益

※グループ間取引価格の見直しの影響

(単位: 億円)

	2014年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	1,038.1	881.6	117.7%
外部	417.5	429.7	97.2%
日本	403.1	401.8	100.3%
IDEXX社等	14.4	27.8 _(注)	51.9%
内部	620.5	451.9	137.3%
営業利益※	201.3	119.3	168.7%

- 日本市場は横ばいとなるも、グループ関係会社（海外）向けの内部売上の増加およびグループ間取引価格の見直しの影響により増収増益

- 日本: ヘマトロジー分野の売上が減少するも、ノンヘマトロジー分野が堅調に推移し横ばい
- IDEXX社等: IDEXX社向け売上は増収も、韓国代理店の子会社化により韓国売上分が減少

(注) 前年同期には韓国向け売上15.6億円を含む

・韓国代理店の子会社化に伴い、韓国は2014年3月期1Qより日本所在地からAP所在地へ変更

予想配当額 増配率35%・12期連続の増配(案)



- 年初予想(期末 21円)に対し 12円の増配

	中間	期末	年間	配当性向
2013年3月期	17 円	23円	40円	29.1 %
2014年3月期 (案)	21 円	33円 <small>※第47回定時株主総 会に付議する予定</small>	54円	27.1 %

※2014年4月1日付で普通株式1株を2株へ分割する株式分割を行っておりますが、上記の「1株当たり配当金」は、分割前の発行済株式総数に基づいております。



Chapter 2

2015年3月期 業績予想

連結 通期業績予想



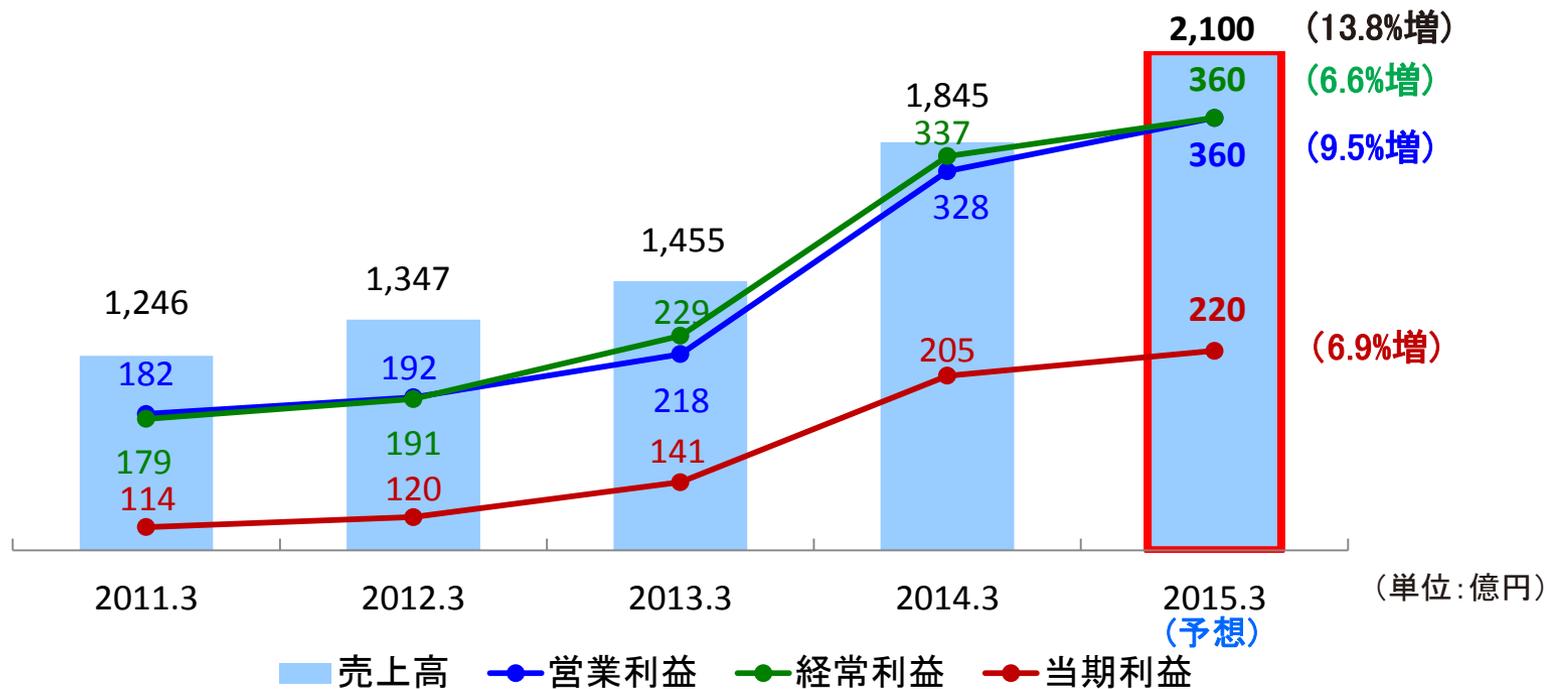
2015年3月期 連結業績予想

- 売上高：2,100 億円
- 営業利益：360 億円
- 経常利益：360 億円
- 当期純利益：220 億円
- 営業利益率：17.1%
- 経常利益率：17.1%
- 当期純利益率：10.5%

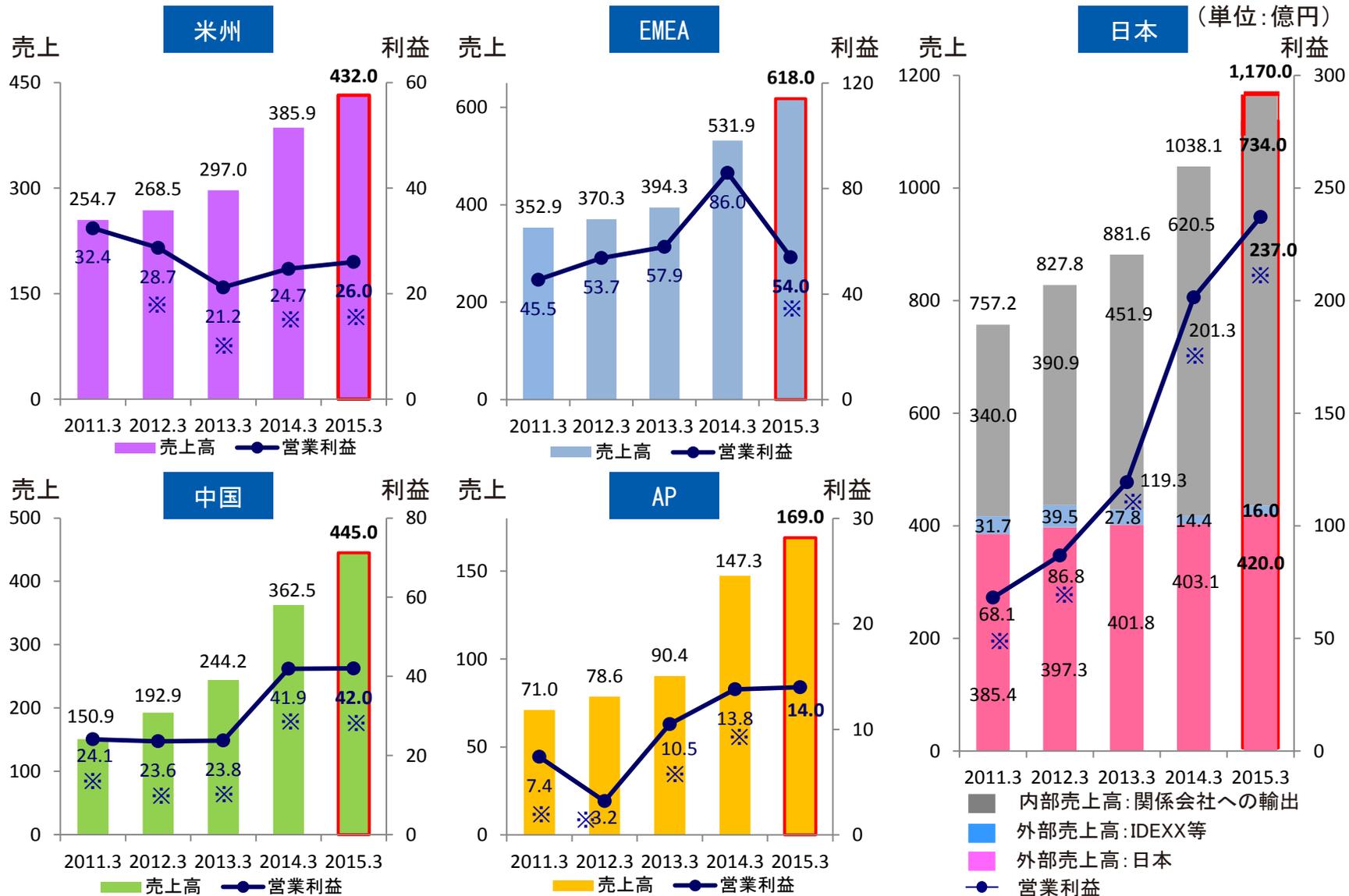
投資計画

- 設備投資：140 億円
- 減価償却費：110 億円
- 研究開発費：145 億円

想定為替レート： 1USD = ¥ 100.0 1EUR = ¥ 135.0
 (2014年3月期実績レート： 1USD = ¥ 100.2 1EUR = ¥ 134.4)



所在地別 通期業績予想



Partec・Inosticsについて



Partec

- 既存ビジネスの拡大
ーHIV検査、マラリア等新興国・途上国へ展開
- ビジネス機会の獲得
ーFCM技術・製品をリサーチ市場およびクリニカル市場で拡充
- 事業シナジーを実現するための機能拡張・整備計画の実施



Partec 新工場

連結業績に与える影響	2014.3 (3カ月)	2015.3
売上高	6.7億円	40.0億円
営業利益	△1.0億円	△1.0億円

Inostics

- ラボアッセイサービス^{※1} 事業のグローバル展開
- 新たなビジネス領域(コンパニオン診断^{※2}事業)の拡大

※1 アッセイサービス:新たな分子診断技術などを用いた検体分析の受託サービスのこと。

※2 コンパニオン診断:医薬品の効果や副作用を投薬前に予測するために行われる臨床検査のこと。

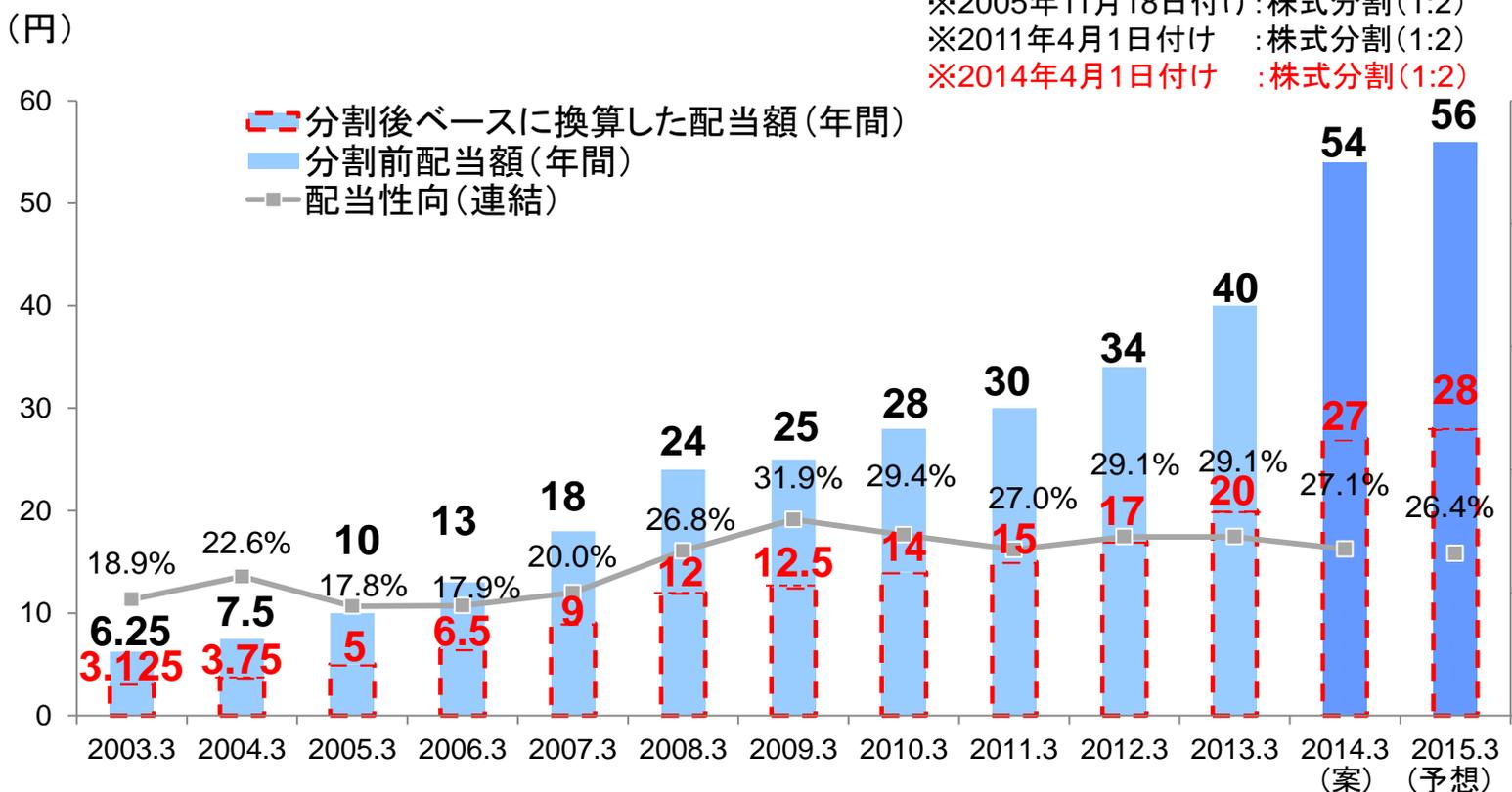
連結業績に与える影響	2014.3 (3カ月)	2015.3
売上高	1.3億円	18.0億円
営業利益	△1.0億円	△9.0億円

- PartecおよびInosticsを除いた既存ビジネスの伸長率:連結売上高11.1%増、営業利益11.9%増

配当政策と配当予想 13期連続の増配(予想)



シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向20%を目処に配当を行ってまいります。



We Believe the Possibilities.

シスメックス株式会社

〈お問合せ先〉

シスメックス株式会社 IR・広報部

・電話: 078-265-0500

・メールアドレス: info@sysmex.co.jp

www.sysmex.co.jp